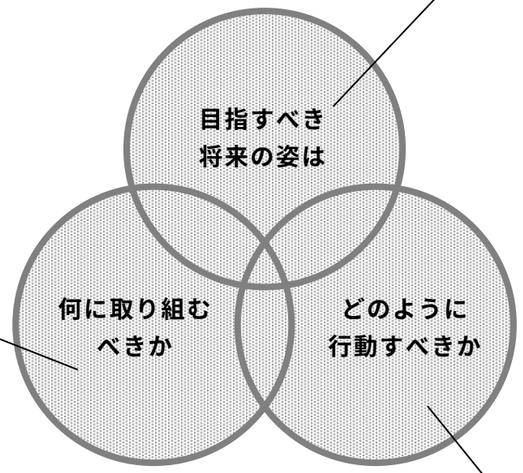
本市の環境の特徴と課題や環境に対する基本的な考え方をもとにして、次のとおり重点事項を抽出・整理します。



環境面から期待される将来の姿

将来の姿を考える重点事項

○“おいしい水”に恵まれ、“きれいな空気”が象徴的に感じられるまち
○健康と安全が保たれ、安心して住み続けられるまち
○失った緑を回復し、まち全体が四季の変化にとけ込む“森のまち”
○ふるさとの多様な生き物たちと共生できる自然と調和がとれたまち
○美しい山河の風景が次世代に継承されていくまち
○歴史の趣きと静かなたたずまいが活かされたまち
○雪と暮らし、雪を克服し、雪を活かすことのできるまち
○ごみを減らし、資源を大切にする生活が根付き、循環型社会が形成されるまち
○地球環境保全を意識し、自らの問題として積極的に行動していくまち

将来の姿を支える取り組みテーマ

目標達成の戦略・取り組みを考える重点事項

○千曲川や中小河川、地下水の水環境を保全・回復し、飲用水源の水質保全を図っていく。
○大気汚染、悪臭、有害化学物質対策や酸性雪、酸性雨対策を進め、健康で安全に暮らせる環境を保っていく。
○山間地の田畑の荒廃等に起因する災害対策をすすめ、安心して住める環境を整えていく。
○森林・河川などの自然回復とまちの緑化をすすめ、生態系のつながりの保全・回復・創出を図っていく。
○休耕地の市民オーナー制など、色々な知恵・工夫と人のかかわりで、農地の保全と活用をすすめていく仕組みをつくっていく。
○自然とのふれあい、人とのふれあいを生み出す公園づくり、散歩道づくりを市民参加ですすめていく。
○歴史的・文化的資源を水と緑の環境と結び付けるなど、まちの個性をみがいていく。
○ごみの発生抑制をすすめ、再使用、リサイクルが当たり前の生活スタイル、生産スタイルに変えていく。
○環境美化活動をすすめ、ごみの不法投棄防止など環境モラルの向上と環境への監視を高めていく。
○親雪、利雪、克雪の工夫を行い、雪を味方とした暮らし方をすすめていく。
○夏の涼風を活かした間取りなど、自然の力を活かした暮らし方をすすめていく。
○環境情報の発信や催しの開催等をすすめるなど、子供から大人まで、様々な環境学習のできる機会や場を設けていく。
○環境教育を積極的にすすめるために、人材育成や支援の仕組みづくりを行っていく。

取り組みをすすめる行動テーマ

目標達成の行動の仕方を考える重点事項

○環境問題を一人ひとりが自覚し、“ズクだすか、ラクするか”を合言葉に意識改革を進める。
○環境に対する意識を高め、主体的な市民活動へとつなげ、継続させていく仕組みをつくる。
○日常生活での利便性の向上への追求に対する見直しをすすめ、ものを大切にする習慣を育てる。
○飯山の良さを見直し、飯山に対する思いを掘り起こしていく。
○先人の自然を守ってきた知恵や地域の伝統文化に学んでいく。
○地区やサークル、学校、家庭など身近なところから環境問題にどう対処していくのかを話し合い、行動していく。
○市民・事業者・行政の協力と連携をすすめる。
○農村部と市街地、生産者と消費者などの多様な連携をつくり出す。
○河川汚濁や大気汚染の問題など、県や近隣市町村との連携をすすめていく。